

# カンボジア・アンコールワットと 観光産業

これまで訪れた旅行先で一番よかった場所はどこでしょうか。トリップアドバイザーが日本人旅行者の口コミから選んだ、日本人に人気の海外観光スポットをみると、二〇一三年度はカンボジアにあるアンコールワット遺跡群が堂々の一位となっていました。実際にアンコールワットを見学したことがある読者も多いでしょうし、日本人にとって親しみのある海外観光スポットとなっています。多くの観光客は古代遺跡の神秘的な空間への期待を心に抱きながら、パスポートを片手に飛行機へと乗り込んでいくのでしょうか。こうして旅行気分が盛り上がった観光客を現地で迎えてくれるのが、近年ますます成長していく観光産業になります。

一九九二年にユネスコの世界遺産に登録されたアンコール遺跡群は、カンボジアのシエムリアップ州に位置します。日本から空路で行くためには、タイのバンコクやベトナムのホーチミンなどを経由します。面積は約一万三〇〇平方キロメートルで、筆者の住む千葉県の面積のおよそ二倍です。シエムリアップの町から南に向かうと、世界最大規模の淡水湖であるトンレサップ湖があります。乾季から雨季になると湖の面積は三倍以上に広がると言われ、周囲の土地や森林を水浸しにします。

シエムリアップにおいて観光は大きな産業になります。観光客に対して様々なサービスを提供する産業であり、ホテルやレストラン、お土産販売店などが挙げられます。カンボジア二〇一一年経済センサスのデータを見ると、シエムリアップ州における農業以外の労働者数は約九万四〇〇〇人います。その労働者のうち、レストランなどの飲食業が一二%、お土産物などの小売店が一二%、ホテルなどの宿泊業が一〇%となっています。つ



Sala Bai 学校の受付風景



Sala Bai 学校の看板



シエムリアップ  
国際空港の周辺



Paul Dubrule 学校のレストラン受付



Paul Dubrule 学校の受付での研修風景



アンコールワットの外観

まり、シエムリアップ州の非農業部門で働く人のうち、三人に一人は観光産業で働いています。観光は地元経済に大きな雇用を生み出しています。

観光産業で働くカンボジア人のなかには、シエムリアップにある観光専門学校を卒業した人材もいます。ポール・デュブル学校は、世界的なアコーホテルグループの共同創業者であるデュブル氏によって二〇〇二年に設立されました。この学校の開校式に立ち会うため、驚くべきことに彼は六〇歳代にも関わらずフランスのフォンテーヌブローからシエムリアップまで自転車ではるばる旅行をしてきたそうです。設立から入学生徒数は増えつつあり、現在は約三〇〇人の生徒が在籍しています。学校では英語や一般教養、観光に関する実務研修が行われています。例えば、レストランでのサービスやフランス料理の調理方法、ハウスキーピング、ホテルの受付など、様々な実務コースが用意されています。

サラバイ学校はフランスのNGO団体であるAgir Pour Le Cambodge が二〇〇二年に設立した学校です。観光教育を最貧困層の若いカンボジア人に無償で提供するため、応募者のなかから家庭訪問などを通して特に貧困層の若者を選抜していると聞きました。男子学生よりも女子学生のほうが一般的に仕事の機会がカンボジアでは少ないため、この学校は女子学生を優先的に入学させています。毎年一〇〇人ほどの学生が入学して、学校では英語や一般教養に加えて、レストランや調理、ハウスキーピング、フロントオフィスなどの実務を学びます。

観光専門学校ではホテルでのインターンシップも実施されています。シエムリアップ市内には広大な敷地に囲まれた壮観な建物の高級ホテルがあり、ホテル内では若いカンボジア人の学生がイン

ターンとして実務を一生懸命学んでいます。近年の観光客の増大を反映して外資系ホテルなどの進出も増えつつあり、シエムリアップ市内にある外資系高級ホテルをいくつか紹介しましょう。

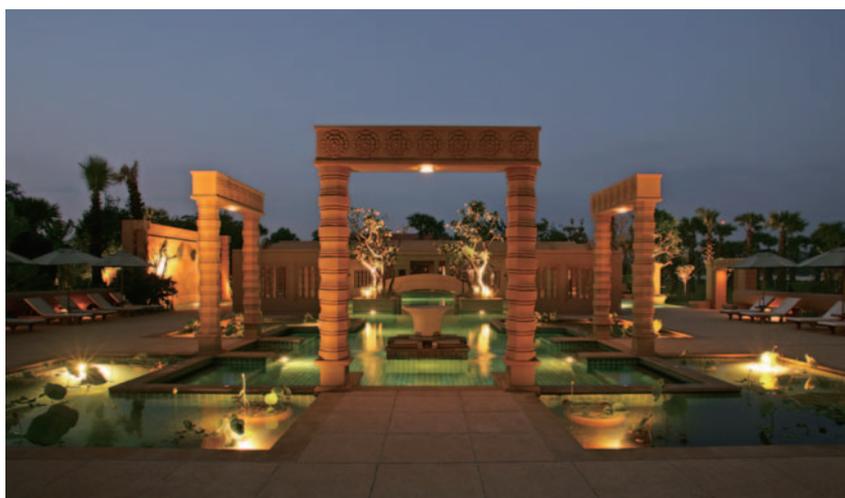
ル・メリディアン・アンコールホテルは、市内では比較的アンコールワットの近くに立地しており、神殿のようなプールが印象的な五つ星ホテルです。このホテルブランドは、アメリカの国際ホテル運営企業であるスターウッドホテル&リゾートに運営されています。ホテルのロビーは明るく開放的な作りになっており、一歩足を踏み入れると優雅な時間が流れはじめます。

ソフィテル・アンコール・ポキットラー・ゴルフ&スパリゾートホテルはフレンチ・コロンIAL様式が印象的な五つ星ホテルです。このソフィテルはフランスの国際ホテル運営企業のアコーホテルズによる高級ブランドで、カンボジア国内ではプノンペン市内にもソフィテルホテルがもう一軒あります。シエムリアップ郊外にはカンボジア初の国際レベルのゴルフコースを備え、最先端の音響機器を備えたホテルの会議室ではアンコールワット国際映画祭も開催されました。

歴史あるホテルとしては、一九三二年に創業してから一九九七年にラッフルズ・インターナショナルによって改装された五つ星ホテルのラッフルズ・グランドホテル・ダンコールがあります。外観は白のフレンチ・コロンIAL様式で、ホテル建物の前には広大な美しい庭園が広がっています。男性のドアマンは金に輝く帽子と鮮やかな色をした膝丈のスボンを身に付けていて、木製のエレベーターが今でも利用されている



地場系高級ホテルのソッカ・アンコール・リゾート・ホテルの標識



ル・メリディアン・アンコールのプール



ル・メリディアン・アンコールのロビー

専門は国際経済学と開発経済学。  
途上国における海外直接投資を研究。

のが印象的でした。  
もちろん外資系だけではなく、地場系の五つ星ホテルもあります。例えば、ソカー・アンコール・リゾートホテルは、カンボジア有数の財閥であるベトナム系カンボジア人のソック一族のソクメックスグループによって展開されています。この財閥は地場系の利点を生かして、アンコール遺跡群の観光料管理といった事業も行っています。アンコールワットの観光資源を生かしてシエムリアップの観光産業は急速な発展を遂げています。現代の観光客が求める観光サービスを現地で提供するため、外資系ホテルやNGOが観光産業の産業高度化に貢献していると思えました。



ラッフルズ・グランドホテル・ダンコールの外観



ラッフルズ・グランドホテル・ダンコールの現地従業員と木製のエレベーター



ソフィテル・アンコール・ポキッター・ゴルフ&スパリゾートのゴルフ場



ソフィテル・アンコール・ポキッター・ゴルフ&スパリゾートの外観